〔様式1〕

令和7年度　北区立小学校学力向上を図るための全体計画

東京都北区立なでしこ小学校

令和7年度「北区基礎・基本の定着度調査」を受けての各教科の分析

国語	観点別で見ると、「思考・判断・表現」に関する設問の正答率が目標値を下回っている学年が多い。特に「文章を書く」について課題が見られるため、自分の考えをまとめさせることや短作文指導などを通して、まとまった文章に慣れさせる必要がある。
社会	基礎・活用、観点別ともに、ほぼ全ての項目で目標値および区平均値を下回っている。知識の定着が不十分であり、「資料を的確に読み取ること」「学んだことを実生活と結びつけること」「複数の事象を結びつけて考えること」などの活動を充実させていく必要がある。
算数	観点別で見ると、「知識・技能」「思考・判断・表現」に関する設問の正答率が目標値を上回っている学年が多いが、区正答率を下回っている学年が多い。特に、図形の領域が区平均を下回っている傾向にある。図示や具体物の活用を取り入れながら、答えを導くまでの考え方を整理して伝える活動を充実させる必要がある。
理科	基礎・活用、観点別ともに、ほぼ全ての項目で目標値および区平均値を下回っている。表やグラフなどの情報を整理し、問われていることを理解する力を付ける必要がある。既習事項や経験を確認しながら予想をしっかりと立たせ、実験結果を比較させるなど考察を指導する必要がある。
英語	「知識・技能」「思考・判断・表現」「基礎」の観点において、目標値、区平均、全国平均を上回っている。「活用」については、目標値、全国平均を上回っているものの、区平均には届いていない。学習したアルファベットを、正しく4線に書いたり、単語を聞き取ったりすることができるようにする必要がある。

本校の教育目標

◎たしかに
〇ゆたかに
〇げんきに　　◎は重点目標

変化の激しい社会の中で、一人一人の児童が自分のよさや可能性に気付き、多様な立場の者と協働しながら様々な社会の変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓いていくことのできる資質・能力を養うことを目指す。

本校が児童に育成したい力

（知育）基礎的・基本的な学力を習得し、自らの生活に生かすことができる児童
（徳育）思いやりの心と感謝の気持ちをもつことができる児童
（体育）心身ともに健康で、継続的に努力することができる児童

学力向上にかかわる経営方針

・課題解決的な学習の展開
・道徳教育の充実
・特別活動の推進
・人権教育の推進
・一人一台端末の効果的な活用（ICT活用）
・算数科における習熟度別学習
・高学年における教科担任制
・家庭学習の習慣化（きたコン併用）
・学習スタンダートの設定（授業規律等）
・ALTとの連携
・NIE教育
・校外学習・体験学習の充実

校内における学力向上推進体制

・研究推進・授業力向上委員会などの組織を中心とし、学習規律の統一、学習指導における工夫・改善及び評価、校内全体の共通理解を行う。
・各種調査結果の分析に基づいた課題把握と指導改善に向けた活動を行い、学習指導等に関する教員の研鑽の場を設定する。

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
・毎時の学習のめあてや学習の流れを提示 ・「北区基礎・基本の定着度調査」の結果分析に基づき、課題を捉え、指導の工夫・改善 ・北区GIGAスクール構想の具現化 ・「スクールタクト」や「ロイロノート」などの効果的な活用	・学力パワーアップ講師や理科支援員、ICT支援員の効果的な活用 ・算数科において、低学年からの習熟度別少人数指導 ・朝学習の時間を活用した反復学習	・北区基礎・基本の定着度調査において、知識・技能に関する問題よりも思考・判断・表現に関する問題の方が区平均値を大きく下回っていることを受け、国語科読むことの学習において、学んだことを基に自らの考えをもつことを重視した思考力育成に関する研究を実施する。	・学習活動に応じた評価の場面や評価方法の適切な選択 ・文部科学省国立教育政策研究所による評価規準を鑑みた、学習指導と評価の一体化の推進 ・研究主題に関連し、主体的に学習に取り組む態度の評価を見取る場面や方法の具体化及び実践	・家庭学習や学習習慣の定着の推進 ・各種学力調査結果の分析結果・方策の公開 ・学校公開、学校評議員会等による、教育活動の発信 ・地域人材を活用した授業実践 ・家庭や地域の方の教育活動への積極的な参加と協力体制づくりの促進